

TONEYAMA



吹奏楽部

本校吹奏楽部が、11月1日～4日、豊中市内の3校の吹奏楽部と合同で、東北震災の被災地の1つである岩手県大槌町へ行ってきました。

東北演奏ボランティア



1日(土)は合同練習後、17時30分に豊中市役所を4校約80人が、バス2台に分かれて出発。

翌2日(日)の午前9時前に大槌町到着。疲れていましたが、午前中はリハーサル。

午後から大槌町民大運動会で4校約80人+大槌高



校吹奏楽部の合同演奏を行いました。防災をテーマにした「防災三択クイズ」「バケツリレー」などユニークな種目やホタテの浜焼きなどもありました。



演奏後は、町役場跡で当時の話を聞いたり、「ひょうこりひょうたん島」に行ったりしました。

3日(月)午前中はリハーサル。午後からは大槌高校吹奏楽部と「東日本大震災被災地復興支援吹奏楽交流コンサート」を行いました。



夜は、町役場の方の講演で震災当時の様子を聞き、いろいろ考える機会となりました。



4日(火)早朝5時半に大槌町を出发し、21時45分に帰阪。有意義な4日間でした。



—参加者の声—

- ・自分自身が80人近くの人数的の中に混ざって演奏するのは初めてで、全員が集まって練習する時間は少なかったのに、ものすごく良い演奏ができて良かったです。大槌高校さんだけの演奏は、人数は全然いないのに音が響き渡っていて感動しました。
- ・また被災地の現状を見て、東日本大震災によって傷つけられた町の様子をテレビや新聞で見てきたものよりも悲惨で驚きました。実際に被災された方の話を聞き、震災の恐ろしさを知り、今覚えていることをとどどん伝えていかなければならない、と思いました。まだ中学生だった頃に周りの友達を失ってしまった話を大槌高校の2年生の先輩から聞いてから、今までに出会った友達や家族を今よりも大切にしようと思えました。
- ・今回の交流コンサートでは、音楽の力はいつでも欠かせないものだと感じ、個人的に今までよりも吹奏楽が大好きになりました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。(1年生)
- ・私は岩手県大槌町に行くことができ本当に良かったと思っています。全員で1つの音楽を作り上げるという事が、とても難しかったけど、本番は最高のステージになったと思います。その時来て下さった方々の笑顔や拍手が頭から離れません。少しでも多くの人に豊中市の音楽を届けるのが目標だったので、達成できたのではないかと思います。
- ・音楽の力はすごく偉大で、笑顔を上げることができると、しみじみ思いました。貴重な体験をありがとうございました。(2年生)